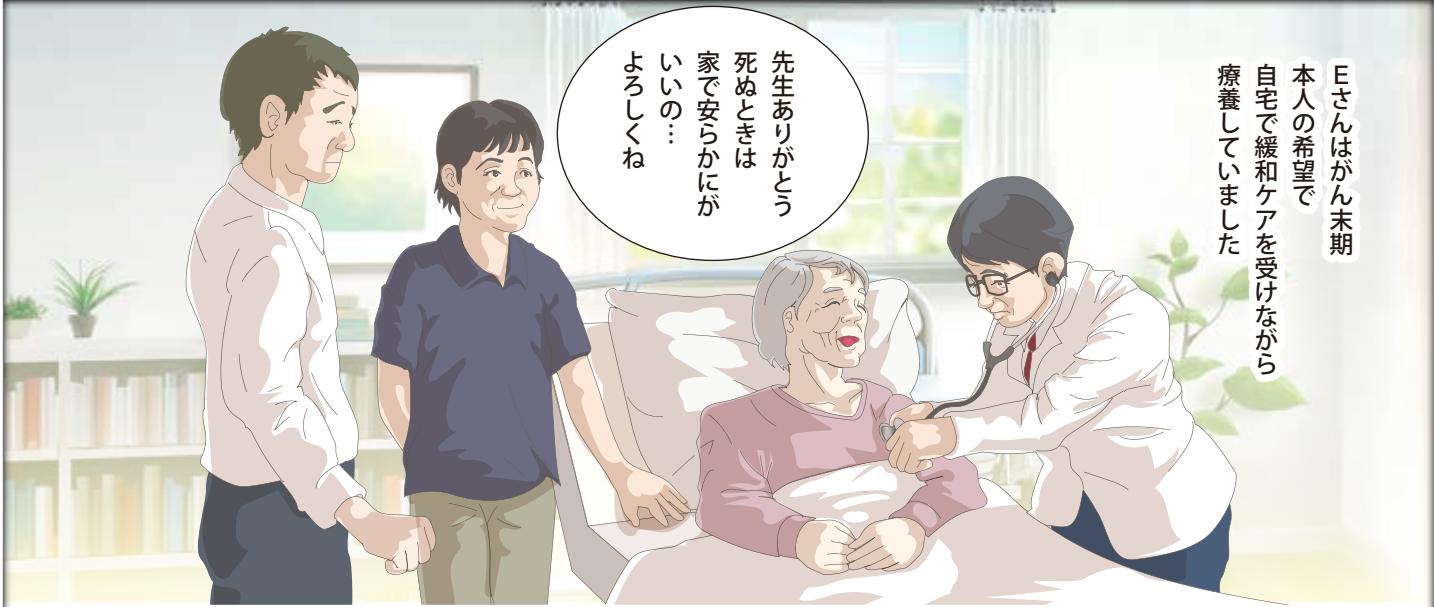


本人の想いに基づいた急変時の対応

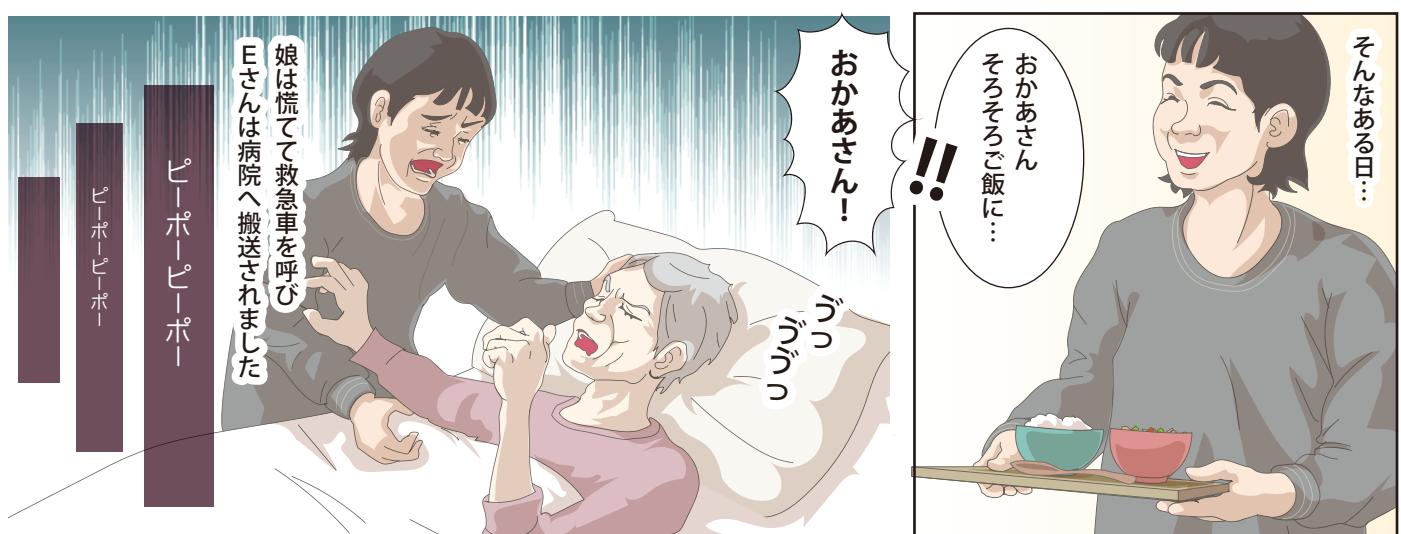
先生ありがとうございます
死ぬときは
家で安らかにが
いいの…
よろしくね

Eさんはがん末期
本人の希望で
自宅で緩和ケアを受けながら
療養していました



おかあさん
そろそろご飯に…

そんなある日…



状態は非常に厳しく
このまま心臓マッサージ
を続けることもできます
が救命できる可能性は極
めて低いと考えています
このまま続けても本人が
苦しい思いをするだけか
もしれませんが…
どうしますか？

Eさんは搬送中
心肺停止の状態となり
病院到着後も心肺蘇生を続けられました

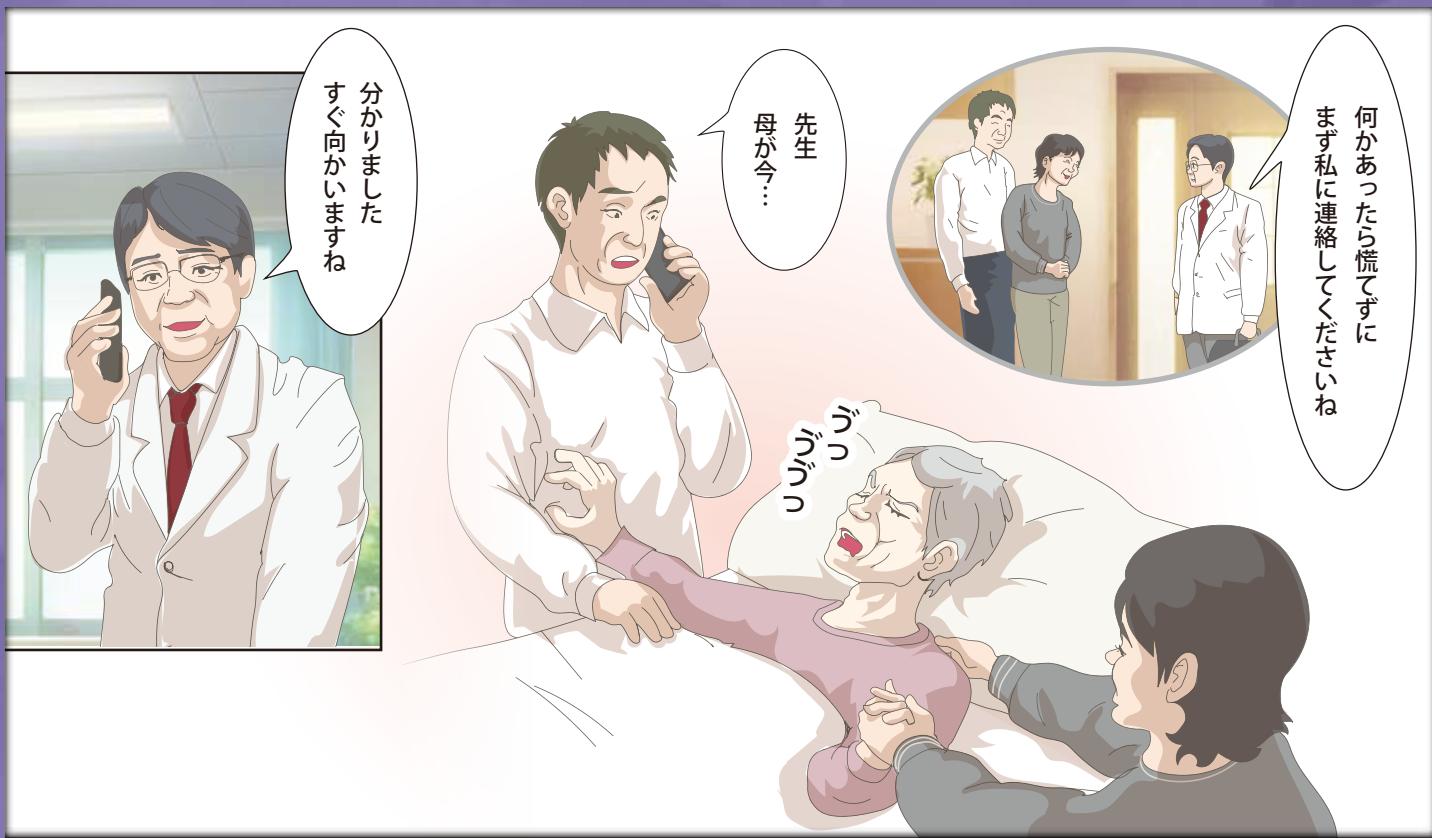
そんな…
おかあさん
最近は家で
安らかにが
いいって
言っていたのに



「いま」
「いやなく
「いま」
「いま」

想いを伝え合う
人生会議（ACP）とは？裏面へ

想いを伝え合う 人生会議(ACP) とは



人生会議(ACP)とは

もしもの時のために、どこでどのような医療やケアを望むのか、前もって考え、信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する取組のことを人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)と呼びます。

なぜ必要?

命の危険が迫った状態になると、約7割の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。万が一の事態に備え、自分の望む最期の過ごし方ができるように、日頃から気持ちや価値観を家族などの信頼できる人と共有しておくことが大切です。看取る側にとっても、どうしたらよいのか悩むことが減り、大切な人が希望する医療やケアを一つでも多く叶えるヒントになるはずです。

いざじゃなくいま!
しまねの
人生会議

詳しくは特設ウェブサイトへ

「人生会議をしよう!」となった際に、
確認すべきポイントや手順の他、
島根県内の講座や役立ツールなどをご紹介!

しまねの人生会議

検索



- 考え方は一人ひとり異なります。また、ライフステージとともに変わっていくこともあります。何度も繰り返し考え、話し合うことが大切です。
- このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。